

# 2020.12.11 福岡37会、福岡市西区・高祖山(たかすやま)416M登山、 高祖神社、反省会 (加布里漁港・牡蠣小屋「住吉丸」)



# 活動データ

🕒 タイム    🚶 距離    ⬆️ 上り    ⬆️ 下り  
**04:38**    **5.4 km**    **455 m**    **453 m**



(今宿野外活動センター駐車場  
～ハイキングコース～高祖山416m  
～三角谷コース～今宿野外活動セン  
ター駐車場の周回コース)



ボケ (木瓜) バラ科



2020/12/11 9:04  
今宿野外活動センター駐車場  
(福岡市西区)

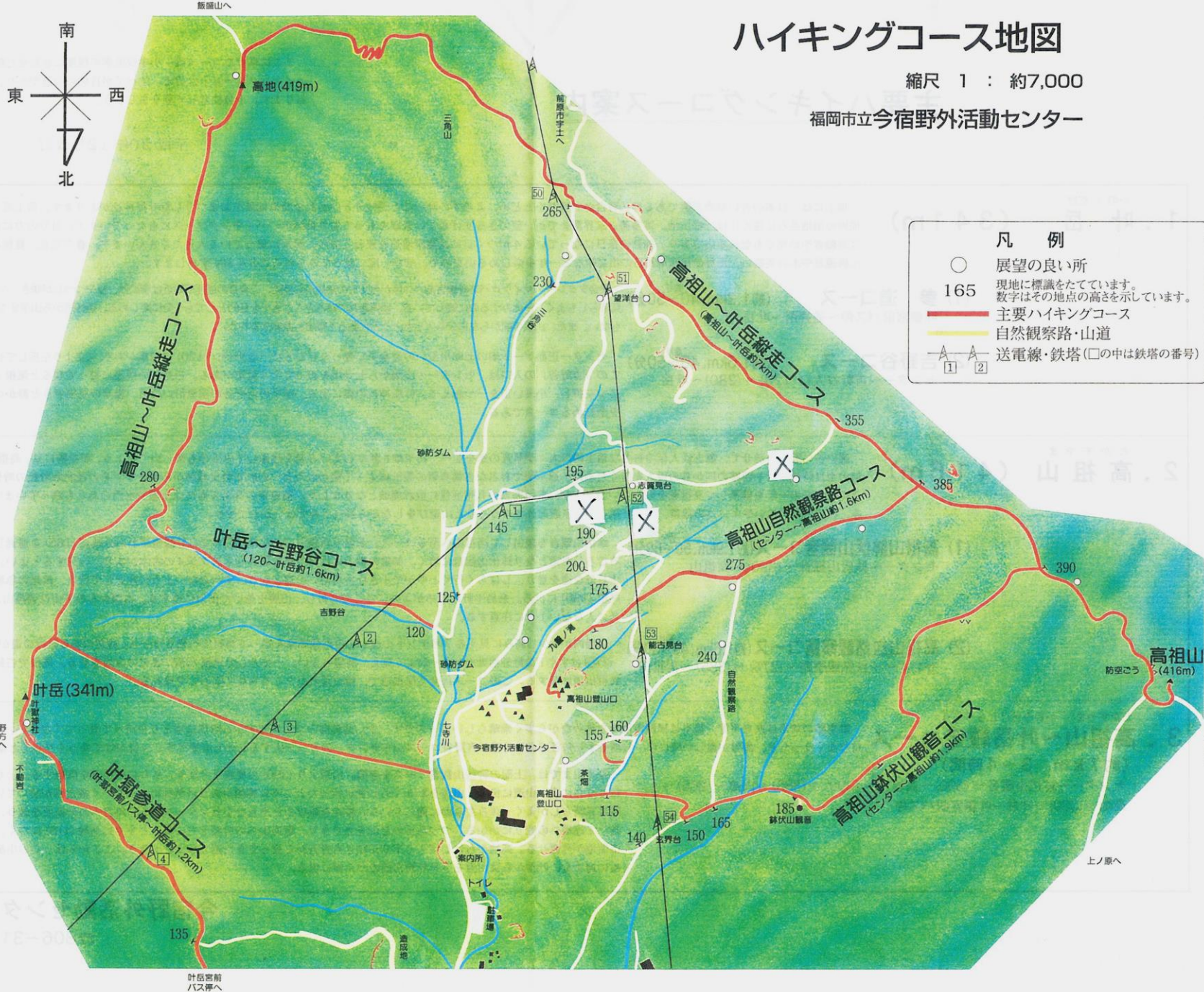
# ハイキングコース地図

縮尺 1 : 約7,000

福岡市立今宿野外活動センター



- 凡例**
- 展望の良い所
  - 165 現地に標識をたてています。数字はその地点の高さを示しています。
  - (Red line) 主要ハイキングコース
  - (Yellow line) 自然観察路・山道
  - (Black line with X) 送電線・鉄塔 (□の中は鉄塔の番号)



龍潭山展望台  
開船寺  
糸懸方面へ

上ノ原へ

叶岳駅前  
バス停へ

2020/12/11 9:10

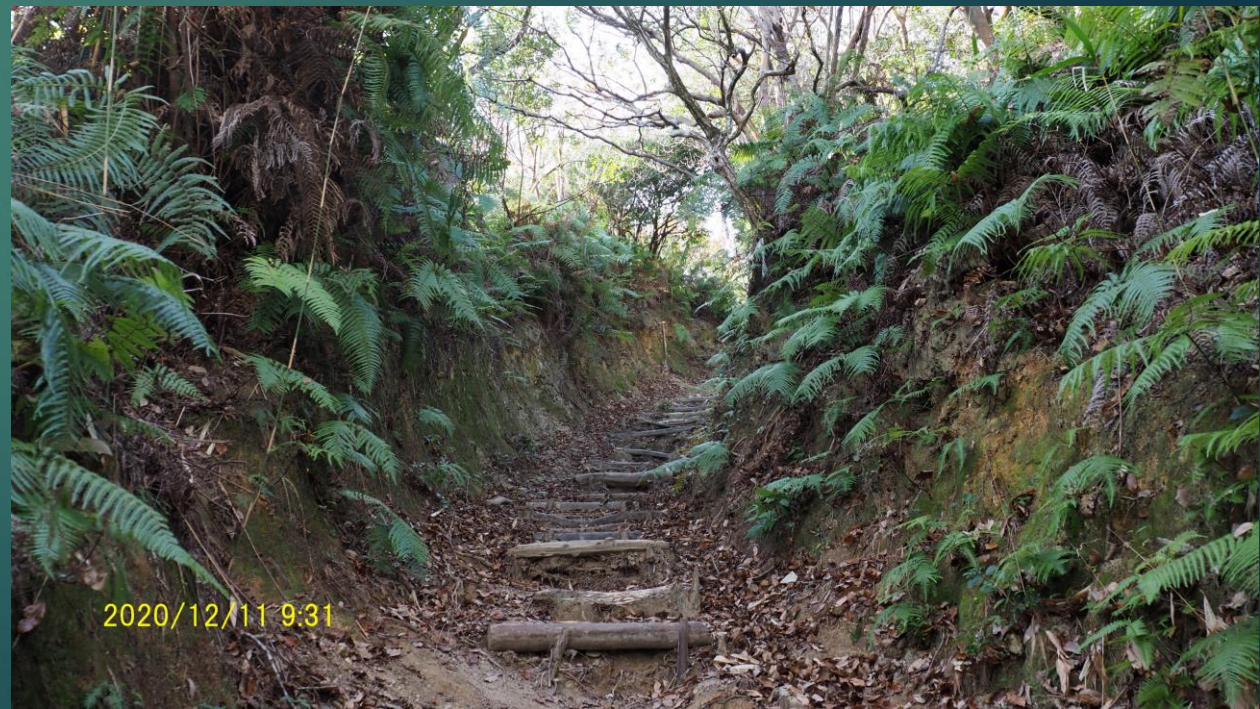


志賀島（しかのしま）

能古島（のこのしま）

2020/12/11 9:23

今宿野外活動センター



# 叶岳・高祖山ハイキングコース



**叶岳～吉野谷コース**  
(120～叶岳約1.6km、登り40～50分)

**高祖山～叶岳縦走コース**  
(高祖山～叶岳約7km、登り3～4時間)

**高祖山自然観察路コース**  
(センター～高祖山約1.6km、登り40～50分)

**叶嶽参道コース**  
(叶嶽宮前バス停～叶岳約1.2km、登り40～50分)

**高祖山鉢伏山観音コース**  
(センター～高祖山約1.9km、登り50～60分)

## 凡例

- [主要ハイキングコース]
- 高祖山～叶岳縦走コース
- 叶岳～吉野谷コース
- 叶嶽参道コース
- 高祖山自然観察路コース
- 高祖山鉢伏山観音コース
- 自然観察路・山道
- 展望の良い所
- 現地に標識をたてています。数字はその地点の高さを示しています。
- 送電線・鉄塔 (□の中は鉄塔の番号)
- 男女トイレ
- バス停
- 多目的トイレ
- 駐車場
- 森の樹木を傷つけたりしてはいけません
- 喫煙は灰皿のある場所で行いましょう
- ゴミは各自でお持ち帰り下さい

2020/12/11 9:27







2020/12/11 10:29  
岩を抱く木



2020/12/11 10:32



イズセンリョウ(伊豆千両)  
ヤブコウジ科



2020/12/11  
10:55



2020/12/11  
11:04



2020/12/11 11:08  
防空壕

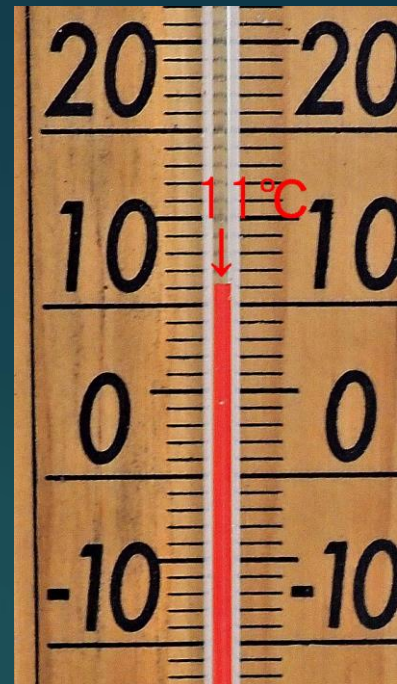
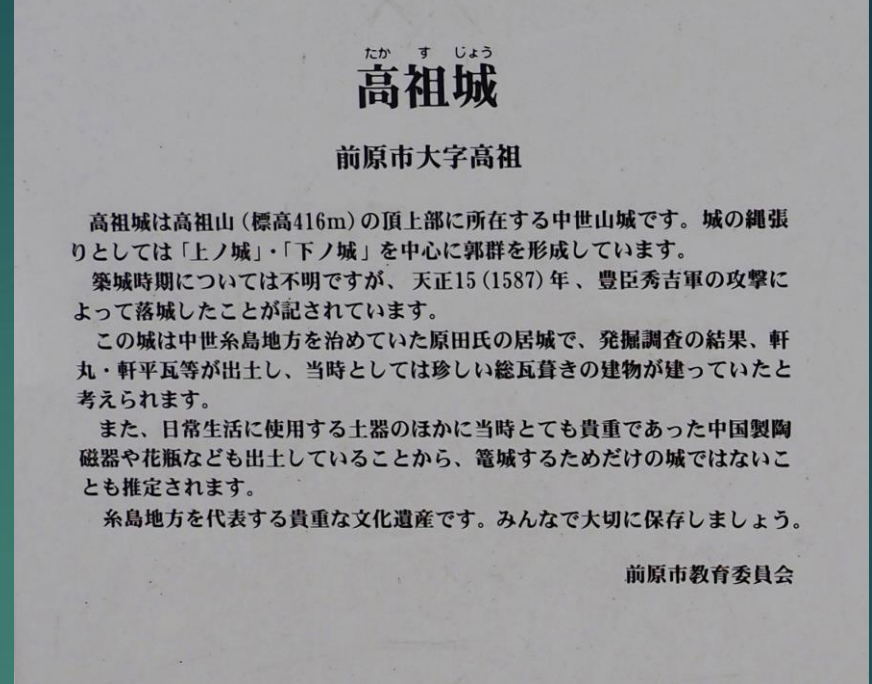


イズセンリョウ(伊豆千両)  
ヤブコウジ科

A photograph of a stone wall in a forest. The wall is constructed from large, irregular stones, many of which are covered in green moss. The wall runs diagonally across the frame. To the left of the wall, there are several thin, light-colored tree trunks. To the right, there are several large, weathered logs lying on the ground. The ground is covered with dry leaves and twigs. The overall scene is a dense, wooded area.

2020/12/11 11:12  
下ノ城跡







2020/12/11 11:28  
高祖山(たかすやま)416m



背振山 (せふりさん) 1055m

雷山(らいざん)955m

2020/12/11 11:40  
高祖山(たかすやま)416m



雷山(らいざん)955m

羽金山 (はがねやま) 900m

2020/12/11 11:42  
高祖山(たかすやま)416m

A close-up photograph of a branch from a Yabokouji plant. The branch is dark brown and has several green, lanceolate leaves with prominent veins. Two bright red, round berries are attached to the branch by short stems. The background is filled with dry, brown leaves and twigs, suggesting a forest floor or a natural habitat.

ヤブコウジ（藪柑子）  
ヤブコウジ科 落葉小低木  
別名：十両



背振山(せふりさん)1055m



2020/12/11 11:50  
高祖山(たかすやま)416m

姫島  
↓

可也山(かやさん)365m  
↓

火山(ひやま) 281m  
↓

2020/12/11 11:50  
高祖山(たかすやま)416m



ヤブツバキ(藪椿)  
ツバキ科



ヤブツバキ(藪椿)  
ツバキ科



2020/12/11  
11:54



2020/12/11  
11:54



アルドオシ(蟻通し)アカネ科  
別名：イチリョウ(一両)



イチヤクソウ(一葉草) ツツジ科



ジャノヒゲ(蛇の髭)  
ユリ科



2020/12/11  
12:15



265m

→ 西福岡今宿線  
50号  
緑を愛し

下ノ城址 1.7km  
叶嶺 2.5km  
野外活動センター  
三角塔 1.3km

福岡県

2020/12/11 12:51  
ここから下山する





2020/12/11  
12:54



2020/12/11  
13:01



三角谷

2020/12/11 13:01  
三角谷の鹿威し

# イズセンリョウ



イズセンリョウ(伊豆千両) ヤブコウジ科



イズセンリョウ(伊豆千両) ヤブコウジ科



イズセンリョウ(伊豆千両) ヤブコウジ科



2020/12/11 13:07

フユイチゴ (冬苺)  
バラ科



2020/12/11 13:21



2020/12/11 13:21



2020/12/11  
13:21



2020/12/11  
13:22



2020/12/11 13:22

# フユノハナワラビ



フユノハナワラビ (冬の花蕨)  
ハナヤスリ科  
別名：フユワラビ (冬蕨)



フユノハナワラビ (冬の花蕨)  
ハナヤスリ科  
別名：フユワラビ (冬蕨)



フユノハナワラビ (冬の花蕨)  
ハナヤスリ科  
別名：フユワラビ (冬蕨)



ガンケビスウ  
(雁首草)  
キク科



2020/12/11 13:34

# ハゼノキ



ハゼノキ(櫨の木、黄櫨の木)  
ウルシ科



ハゼノキ(櫨の木、黄櫨の木)  
ウルシ科





ハゼノキ（櫨の木、黄櫨の木）  
ウルシ科



ドウダンツツジ (灯台躑躅)  
ツツジ科



13:43  
今宿野外活動センター駐車場に到着  
4時間40分の行動時間

高祖神社

(史跡怡土城内)

この社の創立は、さだかではないが、  
具原益軒の続風土記では、中世の頃、  
「怡土の庄・一の宮」として中座に日  
向二代の神、彦火々出見尊を、右座に  
神功皇后(氣長足姫)・左座に日向三  
代の玉依姫を祭ると記されている。  
三代実録には「元慶元年(八七七年)  
高磯比咩神に従五位下を授給す。」と  
あり、神話にちなんだ社です。





14:24



2020/12/11  
14:24



2020/12/11  
14:25



14:25



# 高祖神社創立の由来

高祖神社は彦火々出見命を主座に、左座に玉依姫命、右座に息長足姫命の三柱をお祀りする神社で、いま創建の時を詳かに出来ないが、九州諸將軍記には『神代より鎮座あり神功皇后、三韓より凱旋の後、当社の社殿を乾の方に向け御建立』と記されている。この機縁で神功皇后を相殿にお祀りした、と伝えられている。

当社は、古代から怡土郡の惣社(中世には怡土の庄一の宮)と崇敬される神社で、三代実録には、今から約千百年前の元慶元年九月二十五日癸亥『正六位高磯比賣神に従五位下を授く』と記されている。この高磯比賣神とは高祖神社のことで、相殿に玉依姫命、息長足姫命をお祀りしてあるので、このように呼ばれていると語り伝えている。

明治五年十一月怡土郡郷社、大正四年十一月神饌幣帛料供進社、大正十五年六月二十九日県社昇格、昭和二十八年七月二十日域外境内社として高祖櫛に幸神社、庚申社 高祖浦方に天神社を含め宗教法人高祖神社を設立し高祖区民の崇敬を集めている。また境内神社として伊弉諾神社、思兼神社、農業、特に畜産農家の信仰厚い徳満神社の三社がある。

## 祭典(年間)

- 一月一日 元旦祭 高祖子ども会育成会による高祖山  
初日拝み登山  
四月二十六日 春大祭 高祖神楽奉納  
六月第四日曜日夏大祭・千度潮井 前日夜輪越し  
九月一日 風止祭  
九月十三日 徳満宮大祭・酪農祈願祭  
九月二十五日 高祖神楽夜神楽奉納  
十月二十六日 秋大祭  
十月三十一日 神立祭  
十一月三十日 神待祭  
十二月月上旬 神社総代研修会・大麻頒布祭  
十二月中旬 大注連縄作り

高祖神社

# 高祖神楽

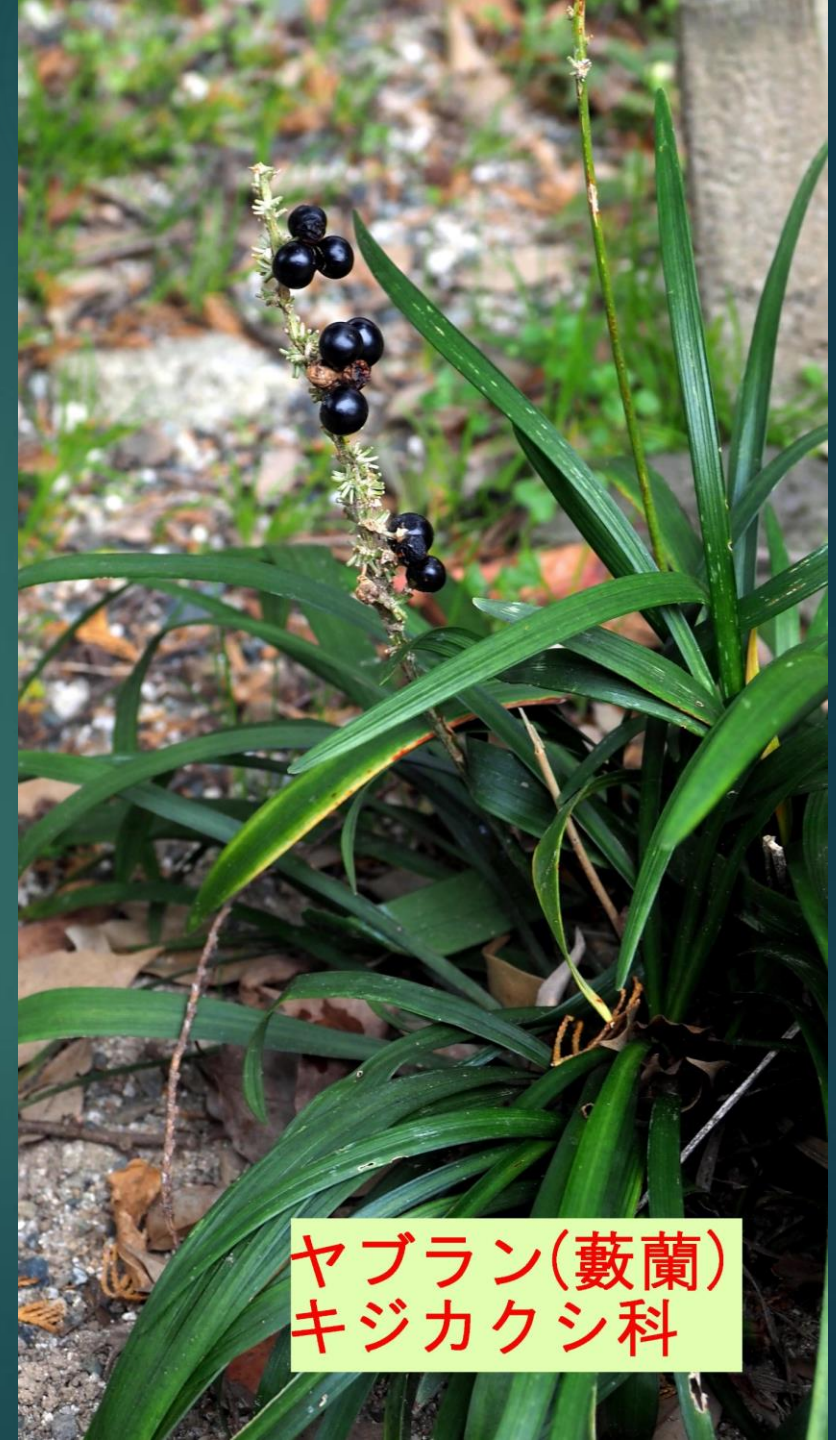
高祖神楽は今から五百数十年前の応仁元年、戦国動乱の時代の高祖城主、原田筑前守種親が盟主である周防国山口城主、大内政弘の要請を受けて京都守護の大任に当たった時、戦陣のつれづれに習得した「京の能神楽」を郷土に伝えたものとされていますが、この外にも異説があり、その始めは定かではありません。

永い歴史と伝統に受け継がれて来た高祖神楽は、江戸時代までは旧怡土郡の神職の奉仕で舞われていました。明治になってからは高祖神社の氏子の人達によって受け継がれ、現在は十数人の氏子の神楽師の奉仕で毎年春の祈年祭、四月二十六日午後一時頃から夕方まで、秋は十月二十五日午後六時頃より十時頃まで篝火の薄明りで、高祖神社境内の神楽殿で舞われています。

その真価は、昭和四十六年五月十九日には前原町指定民族文化財、昭和五十六年三月五日には福岡県無形民族文化財の指定を受けている格調高い郷土芸能であります。

現在奉納されているのは、面を付けずに採り物を捧げて楽の音にあわせ、神楽歌を唱えながら静かに舞う舞神楽と、面を着けた数人の神楽師が登場して神話物語りを展開されてゆく面神楽が奉納されています。





ヤブラン(藪蘭)  
キジカクシ科

# 牡蠣小屋「住吉丸」

可也山(かやさん)365m



2020/12/11 15:20  
加布里漁港







イカ  
1枚 ¥700~  
税別

イカ  
1枚 ¥700~  
税別

牡蠣小屋 住吉丸  
系島力牛  
蒸し牡蠣(冷凍)  
1袋(250g) 840円(税別)

店内禁煙  
NO SMOKING  
INCLUDING ELECTRONIC CIGARETTES

電話タクシー  
0120-499-565  
宮田タクシー  
0570-07-5678  
コープタクシー  
042-231-8660

※土曜日は大変  
込み合います。  
時間に余裕をもって、  
予約ください。

人気商品  
白濁  
300円



2020/12/11  
16:20

END